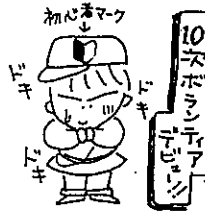


新ボランテニア誕生

四月二十一日、新たに六名の展帆ボランテニアが誕生いたしましたので紹介します。
浅井修平さん、高沢正茂さん、橋本吉史さん、松本巖さん、吉野宏さん、そして、米盛隆信さんの六名で、浅井さんがボランテニア番号390番になります。浅井さんは富山市の、高沢さんは高岡市の会社員の方、橋本さんは大学生でボランテニア番号90橋本さんの息子さんです。松本さんは新潟県糸魚川市の方で、昨年の海王丸の遠洋航海に参加されたそうです。米盛さんははるばる和歌山県からの参加です。吉野さんは当財団の事務局局長です。

着任の挨拶



「男のロマン」理事・事務局局長 吉野 宏

今年のマスターズゴルフは最終日、首位に六打差の二位でスタートしたイギリスのニック・ファルドが六バーディー（二ボギー）を奪う安定したゴルフを展開。ショットが乱れて七十八と崩れ前日まで首位を独走していたオーストラリアのグレッグ・ノーマンを逆転し、六年ぶり三度目の優勝をしました。が、グレッグ・ノーマンは五打差で三度目の二位に終わりました。

二位の方も多いと思いますが、ノーマンは昨年のPGA（アメリカプロゴルフ協会）の賞金王でもあり、今や誰もが認める世界最強のプロゴルファーであります。ところが、不思議とメジャーチャンピオンシップ競技（世界のプロゴルファーが出場するビッグ競技）の優勝には縁がなく、全英オープン競技に一回しか優勝しておりません。マスターズに限ってみても、ジャック・ニクラウスが六回、アーノルド・パーマーは四回も優勝しておりますが、ノーマンは二位に三回（今回を入れて）もなっています。優勝はしていません。今年のマスターズで三日目を終わ

り、二位に六打差をつけて独走するノーマンの姿をみて、誰もが今年こそノーマンが優勝するだろうと思いつつ、また優勝させたいと思っていたことでしょうか。私も密かにノーマンにエールを送っております。

ところが、現実にはまたもや優勝を逃がして二位に停まりました。

何故、優勝できなかったのか、何故首位に六打差をつけていながら最終日に逆転を許したのか、その謎（理由）は試合後の彼のインタビューで理解した人が多かったのではないかと思います。「ミスが多い、長い一日だった。マスターズは勝ちたくて仕方なかったけど・・・でも自分は勝てなかっただけで敗者ではないよ。やるだけのことはやった。」

九番ホールから十一番ホールまで連続ボギーをたたき、十二番と十六番のショートホールではいずれも池ボチャでダブルボギーをたたき、この五ホールで七オーバーですが、相手のニック・ファルドは手堅く全てパーでホールアウトしております。つまりノーマンは優勝のプレッシャーに負けたように見えます。しかし、私にはそのように思えないです。解説者も言っていました。ノーマンは最後まで攻めのゴルフをしました。優勝するための守りのゴルフはしなかったのです。プロ野球の首位打者のタイトルをとるために残り試合を欠場するようなことは、世界最強のゴルファーとして出来なかったのではないかと思います。予選落ちしてインタビューを断って帰国した情けない日本のゴルフファームもいましたが、ノーマンは堂々とインタビューに答え、明日からまた来年のマスターズに向けての努力を誓っております。この王道を求め続けるノーマンを羨ましく思うと同時に、その姿に「男のロマン」を感じたのは私だけでしょうか。

私は四月一日付けで海王丸記念財団の事務局局長になりました。「海王丸」の展帆ボランテニアになり「海の男」の夢を見て「男のロマン」を追っております。どうぞよろしく。

総務部長 尾崎 孝嗣

皆さんはじめまして。四月の人事異動により海王丸のお世話をさせて頂くことになりました尾崎と申します。趣味はゴルフでありますので「ジャンボ尾崎」とも覚えて頂ければ幸いです。

今までは富山の職場へJRで通勤していましたが、海王丸パークへは車通勤が便利のため、オンボロ車を廃車にして新たに通勤用の車を購入しました。今は新車に乗り毎日楽しく海王丸パークへ通勤しております。毎朝駐車場に車を止め、歩いて事務所に向かう途中、海の貴婦人に「おはよう。今日もよろしく。」と声をかけることが習慣になりつつある今日この頃であります。

先日、高岡商工ビルで開催された「ボランテニアの集い」にはじめて出席させて頂きました。皆さん方の貴婦人に対する熱意の程を肌で感じる事ができました。

改めて皆さん方あつての海王丸であることを実感しました。今後とも一層貴婦人をよろしくお願いいたします。

さて、七月二十日が国民の祝日「海の日」に制定されましたが、海王丸記念財団では七月二十日・二十一日の両日に海王丸フェスティバルを盛大に開催するほか、秋の国民文化祭においては富山湾上フェスティバルの一環として「海王丸セールデザインコンテスト」や「ワークショップ」などを計画しております。今年も多彩なイベントを計画しておりますが、なんとと言っても県民の期待は海王丸の総帆展帆であります。四月二十八日を皮切りに合計十一回の展帆を予定しておりますので、皆さん方の一層のご協力をお願いいたします。新任のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

業務課長 阪本 敏章

「阪本君、四月から富山県の海王丸だよ。」船長から人事異動案を聞かされたのは2月上旬、日本丸でホノルルに入港した日のことでした。突然の話しただけに引越しの

ことや全く新しい業務に就くことで異動には少々戸惑いがありました。

三月中旬、東京港に帰港してからは、引継ぎ、引越準備など慌ただしい日の毎日でしたが、予定どおり何とか四月一日に引越すことができました。「富山は雪との戦いだ。」と出向経験者から聞かされたお話を赴任して二日後の降雪、また一週間後の積雪には驚かされました。最近になって暖かくなり、チューリップも満開となってようやく春らしい気候となりましたが、皆さんの春を待つ気持ちも少しも分かったような気がいたします。

さて、私にとって海王丸は、学生時代に実習したこともなく、また、就職してからも乗船したこともない全く無縁の船でした。皆さんにお叱りを受けるかも知れませんが、陸上勤務になって初めて乗船した船なのです。しかし、着任してから永久保存に至った経緯や、公開用に整備された船内、道路に設置された海王丸パークの案内板などを見ますと富山県民の熱意がひしひしと感ぜられました。また、第一回目の総帆展帆では、老若男女を問わずボランテニアの皆さんの意気込みに感動しました。立山の雄大な自然を背景に皆さんの力で支えられている彼女はさぞかし幸せだと思います。この海王丸を私の第二のマザーシップと呼べるよう皆さんとともに頑張ります。

どうか、よろしくお願いたします。

業務課技師 小武海 紀人

この度阪本氏の後任として着任いたしました。小武海と書いてこぶかいと読みます。初めて目にする人にとって、名前を呼ぶことが非常に難しいことであるようです。私自身は埼玉県の出身ですが小武海という性は秋田県が本家本元です。高校時代歴史の先生に「名前から考えるにお前の先祖は海賊ではないか」とよくからかわれましたが、祖父は戦前、八郎潟で幾隻かの漁船を所有し運用していたとのこと。私が船乗りになった時、

祖父の血を受け継いだということであ家では大変に盛り上がったそうです。

初めて私が海王丸を見たのは大学一年の時、平成元年六月の横浜大橋、その最後の遠洋航海に出航する出航式です。当時商船大学は全寮制で縦割りの四人部屋、つまり一年生から四年生までが一人ずつで四人部屋となっていました。一年生はポットムと呼ばれ、二、三、四年生はとも怖い存在でした。そして四年生よりも更に怖い存在として五年生ならぬ実習生がいたのです。その日は自分の先輩の出航式でした。初めて目にした海王丸の勇姿、先輩の登橋礼に感激して涙したことを覚えています。

今その憧れの海王丸に携わることが出来、とても幸せに思っています。皆さんと力を合わせ、海王丸がいつまでも美しい海の貴婦人でいられるよう頑張っていこうと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

「富山に来て」 業務技師 大西 将平

四月から海王丸記念財団に勤務することになりました。三月末で航海訓練所を退職し、東京から四国の我が家へと、そして一息入れる間もなく今度は新湊へと転船？になったのですが、昨年銀河丸で訪れた頃は、すでに古城公園の桜も散り果て冷たい雨に打たれていたのが記憶にありましたので新湊に落ち着いて三、四日は暖かい日が続き、寒い土地と思っていたのが半年はこんな気候だったのかと少し気がゆるんだところへ、十二日の大雪で、富山県は四月に入っても毎年こんなに雪が降るのかと大いに驚きました。たが（愚妻などそれこそびっくり仰天でした）、これは何十年ぶりの雪とのことで一安心。

実はこちらに来る前から先輩の方々に、富山はよいところと耳にタコが出来る程に聞かされてまいったのですが、正直なところ、来てみればさほどでもない富山かなといった感じで、皆様のおっしゃる富山の善さが未だ未だよくわかりませんが、日も浅い故もあ

り、これから月日を重ねるに従いだんだん富山の善さに触れることになるでしょう。また、努力してその善さの中に早く融け込んで行きたいものだと考えております。どうぞよろしく。

「チョッサー」からのお知らせ

①ゴールデンウィーク期間中の見学者数及び今後の予定について
四月二十八日から五月六日までのゴールデンウィークの間、海王丸は連日一千人を超す見学者で賑わいました。この数字はゴールデンウィークの初日と最終日を総帆展帆で飾った展帆ボランティアのご協力によるものと感じております。皆さんご苦勞様でした。

来る六月二十三日は北陸四県から二千五百名の高校生が集まり、パーク及び船上で全国高等学校クイズ選手権が開催される予定です。このことについては、現在日本テレビを中心とする放送局と調整中で具体的なスケジュールはまだですが六月二日の総帆展帆日までにスケジュールの概略を提出するよう放送局に依頼しております。また皆様に無理難題をお願いするかも知れませんがご協力をお願いいたします。

②「ラ・メール」について

「ラ・メール」五、六月号が入荷しています。購入されました方は財団事務所にてお渡ししています。また、新規に購読を希望される方は阪本まで申し込んで下さい。



網島さん叙勲の栄に

春の叙勲で、網島さんが勲六等瑞宝章を受章されました。ポランティア一同として祝電を差し上げたところ、ポランティアの皆さん宛に御礼状を頂きましたので別紙にご紹介いたします。

東京のハワイ

新海王丸に乗って 第二回

武田信幸

その夜からです。最大の試練が始まったのは。船は機走中（注：エンジン）を回して走っていること、海は大シケ、最初はゆりかごみたいで気持ちがいいと思っていたのに突然「ウツ」と胃袋が裏返るというか突き上げるものを感じ、一目散にトイレに走る、そうです船酔いが始まったのです。

次の日も、船酔いは続いていきます。シケは相変わらず。食欲はまるでなく、横になって寝ているとまじですが、立ち上がるのもうだめ。指導員の方からはたどえ食べなくても自分の食事の始末をするようにと、また、食欲がなくても一切れでも食べるようにと、言われました。その日無理に果物などをやっど口に入れて食べました。それが良かったのでしよう、少しずつ気分は上向いてきました。五月十四日、帆走開始。シケは続いていますが機走の時ほどピッチングはひどくなく、斜めに傾いたまま滑るように走り出し、やっと気分が普通になってきました。（次の日から傾きがもっと大きくなり、遊園地のミステリーハウスの中を歩いているような気分です。）

甲板へ上がって見るとリー側（風下）にライフライン（ロープ）が張ってあります。その名のとおりロープに命を預け、甲板を歩いていきます。五月十五日、シケもおさまって、波も穏やかになってきました。登橋訓練も始まりました。風を受け海原を走る船のマストはいいもんだな一と思っで登っていました。その後の船の生活はワッチ（航海当直）体験も始まり忙しくなってきました。四時間のワッチをこなし、八時間の休み、また四時間のワッチをこなしとこまぎれの生活です。ワッチ中は、一時間毎にルックアウト（見張り当番）、リーサイド（風下当番）、氣象観測や船内マイクなどの業務）、ホイール（操舵当番）、スベアーと交代していきます。このほ

か一人はサブワッチ（副直：航海士とほぼ同じ業務をこなします。）として実習生のサブワッチに四時間つきまします。

ここで、一日の日課（ワッチのない時）のあらましを簡単に説明しますと、六時三十分総員起こして起床、整理、体操、七時十五分まで朝別科（甲板磨き、諸当番掃除のこと）をこなします。昼の間は登橋訓練、船内見学や講義を受け、夜も諸当番を行って点検を受けます。

マンボウの昼寝を見ながら航海し、子午線通過のイベントへと近づいていきます。子午線通過予想トータルチョというものがありません。何月何日何時何分何秒に通過するか予想し投票するものです。私は近いところまでいきましたが、当たりませんでした。

（つづく）

展帆デー

四月二十八日、本年度初の総帆展帆を行いました。絶好の展帆日和で大勢のご参加を頂きました。絶好の一日でした。

★データ

- ◆月日◇天候◇参加者◇その他
- ◆28◇晴◇九三名◇スターボードタック
- ◆29◇晴◇七五名◇スターボードタック
- ◆30◇晴◇七五名◇スターボードタック

◆シャープアップヤード、海洋講座開催

◆好天が続き、さわやかな日が続いています。昨年植樹祭で頂いたウメモドキにいつのまにか葉が出てきて不思議だなあと感じながら毎日眺めています。四月から新しいメンバーが加わり、海王丸にも新しい若葉が生まれました。今年も元気よく行きたいと思しますのでよろしくお願いたします。

Dodo